

目附谷鳴谷出合附近の溪谷林について

西村直樹・里見信生 金沢大学理学部生物学教室

ON THE RAVINE FORESTS AT THE JUNCTION OF MEKKODANI AND NARUTANI IN MT. HAKUSAN (ISHIKAWA PREF.)

Naoki NISHIMURA and Nobuo SATOMI, *Department of Biology, Faculty of Science, Kanazawa University*

I まえがき

大きな河川の流域には、礫、岩の多い流積土の堆積が流域沿いに見られ、それらにおける植生は河辺林（上流では溪谷林）とよばれ、附近の植生とは異なった景観を示している。

これら河辺林はダム、砂防工事、採石などによる人為的な破壊がすすみ、現在では調査対象として得るものが残されていない。しかし、上流域にはかろうじて、自然林として残っているものがある。

上流域河辺林（溪谷林）は通常、V字型峡谷の底辺に存在することから小面積であるが、出合の附近では比較的広い面積を占めていることが多い。我国の河川上流域では、急峻であり、一時の出水による破壊・堆積といった地形変遷が激しい。従って、それによる流積土砂の堆積地の安定度合に応じて、各種の遷移段階を示す植生が観察できて、興味深い研究対象であるということができよう。

白山西面の降水を集め、日本海に流れる手取川は、昭和9年に、明治29年以来の大洪水を起したことが知られている。春の大雪による多量の残雪に、白山山間部を中心とした豪雨が重なったためといわれている。その際、手取川の上流である目附谷も激しい変化を強いられたことが推測されるが、そのとき成立したと思われる堆積地が鳴谷出合附近で観察され、ヤマハンノキ、オノエヤナギが、優占している。

さらにその附近は出合という地形上、現在の河床からの高さが異なる（従って、成立時が異なる）堆積地がいくつか見られ、そこにはサワグルミ林、ブナ林、ヤマハンノキ林などが、それぞれの立地を異にして観察されるが、これは上流河辺林（溪谷林）の堆積を考察するに格好のものと思われる。

II 調査地の概要と調査方法

目附谷（図1）は手取川の一支流、尾添川にそそぎ（合流点標高400m）、登りつめると四塚山（2519m）と、白山釈迦岳の北方のシゲジ（2082m）を結ぶ稜線に至る。紅滝（1400m）より上流では、狭い廊下状をなし、溪谷林は成立し得ない。

調査地は、その目附谷の鳴谷出合附近（1200m）、谷深いところなので人為的要因は、ほとんど入っていないと思われる。

白山の植物社会は、正宗、及び、鈴木によって報告されている。鳴谷出合附近（1200m）は、両氏の述べる山地帯（ブナ帯、500~1500m）に属す。その景観は、鈴木が述べているように、定着土上にブナ林、谷沿いの崩積土上にサワグルミ林、尾根の岩角地にクロベ、ヒメコマツ林である。

目附谷鳴谷出合（図2）の、目附谷と鳴谷に挟まれた嘴状の部分（250m×100m）は、この2つの谷の上流から運ばれた土砂、礫、岩が堆積したと思われる。特に、鳴谷からのものが、より水量

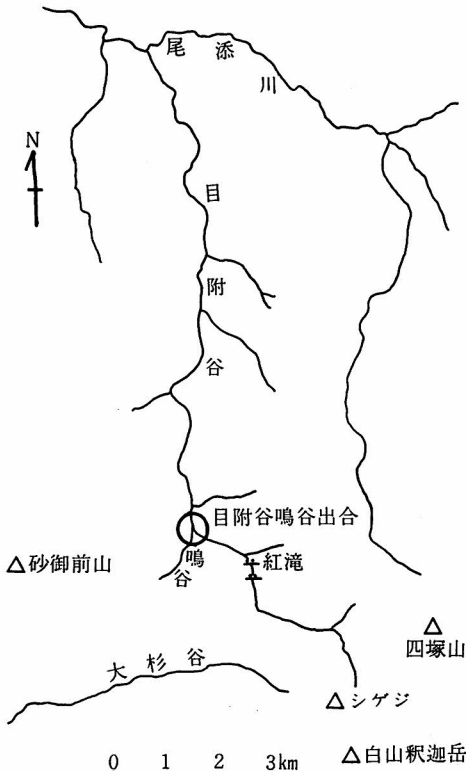


図1 目附谷

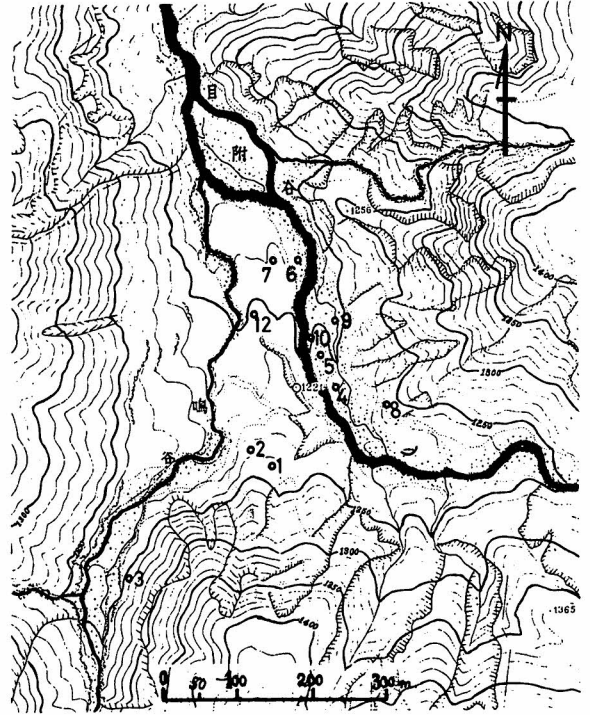


図2 目附谷鳴谷出合(調査地点)
(但し、No 11, 13, 14 は入っていない)

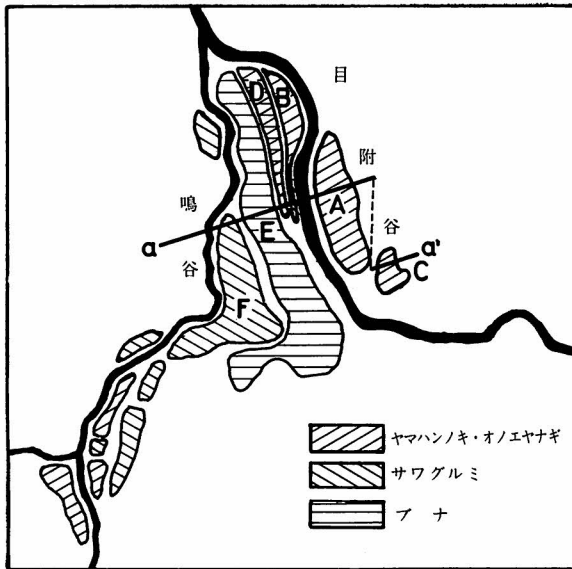


図3 目附谷鳴谷出合附近河辺林

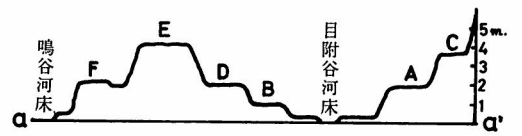


図4 堆積面の河床からの高さ(A,B……, a, a' は図3 参照)

が多くて激しい目附谷の流れにぶちあたることにより堆積したのではないかと堆測されるが定かでない。

この嘴状の部分を中心として溪谷林が成立している。この調査地で興味もたれるのは、以下に記すような事柄である（図3，図4参照）。

- ①堆積地AとBは、同世代の植生であり、昭和9年の大洪水の際成立したと思われる。
- ②堆積地CとDは同世代であり、A，Bより古い。
- ③堆積地Eのブナは、下流に行く程、鳴谷側である程、小さい。
- ④堆積地Dにもブナが入っているが、Eと較べて、ブナの大きさ、堆積面の高さがはっきり異なる。
- ⑤堆積地EとFの間には古い河床が認められ、Fはサワグルミ林となっている。

以上のことから上記の如き立地景観の異なる溪谷林植生を比較してみることにした。すなわち図2に調査地点をプロットした如くそれぞれの異なる植生の中で代表的地点を、1～2点選び、被度、群度を調べてみた。コードラートの大きさは、均質な植生の中で、5×5m～20×20mを適宜設定した。

III 結果と考察

調査結果は末尾の各調査票の如くであった。さらに各コードラート間での共通種数を％で表わすと次の如くである。

- ①1と2と3との間では30～40％の共通種が出現し、同様に4と5と6との間で30～40％、12と13と14との間で40～50％が共通種であった。
- ②〔1，2，3〕（サワグルミ林）と〔4，5，6〕（ヤマハンノキ，オノエヤナギ林）と〔12，13，14〕（ブナ林）との間では、0～5％であった。
- ③7と8との間では25％で、この〔7，8〕と〔1，2，3〕，〔4，5，6〕，〔12，13，14〕とは、それぞれ10～15％，20～25％，5％であった。
- ④9と10と11の各々は、〔1，2，3〕，〔4，5，6〕，〔12，13，14〕との間で、皆同様に5％，25～30％，0％であった。

以上より、目附谷鳴谷出合附近の溪谷林として、サワグルミ林（1，2，3），ヤマハンノキ，オノエヤナギ林（4，5，6，7，8，9，10，11），ブナ林（12）の三型が考えられる。

サワグルミ林は他のものに較べて土壌水分が多いところに成立している。種組成においても他林との関連は少ない。下層には幼樹がみられ、地形的な永久植物社会を為している。

ブナ林の成立地は、かなり長期にわたり安定していたと思われる。また、7（堆積地D）のヤマハンノキ林にブナが入っているところから、ヤマハンノキ林はブナ林と接するならば、ブナ林に移行していくと思われる。

ヤマハンノキ，オノエヤナギ林としたものは、推移途中相で、その景観は、さまざまである。概してオノエヤナギは立地の不安定なところで優占し、立地が安定化するにつれ、ヤマハンノキが優占していく。さらに、ヤマハンノキが上層を被ってしまうと、その幼樹は育ちえず、他のものと交代するようである。

IV あとがき

この研究に当り、金沢大学教授松尾秀邦，同助教授大村一夫の両氏には地形地質について御教示を得たことを記して感謝の意を表します。また研究の便宜をはかっていただいた石川県白山自然保護センターの各位に御礼申し上げます。

文 献

- 金沢地方气象台編 (1971) 石川県災異誌 石川県
宮脇 昭編 (1967) 原色現代科学大辞典 3 植物学研
猶原恭爾 (1945) 荒川河原植物群落の生態学的研究 資源科学研究所彙報第8号
沼田 真編 (1962) 植物生態野外観覧の方法 築地書館
—— (1969) 図説植物生態学 朝倉書店
鈴木時夫 (1970) 白山の植生分布と重直植生帯 白山の自然 石川県

Summary

The ravine forests are studied at the meeting point of Mekkodani and Narutani in Mt. Hakusan (Ishikawa Pref.). They are;

- 1) *Fagus crenata*-forest
- 2) *Pterocarya rhoifolia*-forest
- 3) *Alnus hirsuta* & *Salix sachalinensis*-forest

植生調査票

No. 1 (名称) 石川 市尾口 町大塚
 面積 1.5万 日暮 ⑤左
 (海拔) /2320 m
 (方位) N
 (傾斜) 20
 (面積) 20x20 m
 (出現回数) 2x2

(地形) 山頂: 扇形: 風通: 上・中・下・凸・凹: ⑤: 平地
 (土壌) 砂質土・褐色・赤・黄・黄褐色・アソド・グライ・
 腐アライ・沼沢・硬質・高草草・非固着層・固着層・水面下

(階層) (優占種) (高さm) (個体数) (種数)
 I 高木層 サワグルミ 20 75 44~47m 2
 II 亜高木層 トウナギ 5~7 40 5
 III 低木層 サワグルミ 1~2 30 4
 IV 草本層 リョウブ 0~1 100 21

V コケ層 -

(調査者) 望見、西村

群落名		19 75 年 7 月 2 / 日		調査者 望見、西村	
S	L	D-S-V	S	L	D-S-V
I	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
II	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
III	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
IV	リョウブ	リョウブ	SPP	リョウブ	SPP
V	-	-	-	-	-
1	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
2	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
3	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
4	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
5	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
6	リョウブ	リョウブ	SPP	リョウブ	SPP
7	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
8	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
9	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
10	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
11	リョウブ	リョウブ	SPP	リョウブ	SPP
12	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
13	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
14	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
15	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
16	リョウブ	リョウブ	SPP	リョウブ	SPP
17	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
18	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
19	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
20	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
21	リョウブ	リョウブ	SPP	リョウブ	SPP
22	-	-	-	-	-
23	-	-	-	-	-
24	-	-	-	-	-
25	-	-	-	-	-
26	-	-	-	-	-
27	-	-	-	-	-
28	-	-	-	-	-
29	-	-	-	-	-
30	-	-	-	-	-

植生調査票

No. 2 (名称) 石川 市尾口 町大塚
 面積 1.5万 日暮 ⑤左
 (海拔) /2320 m
 (方位) N
 (傾斜) 20
 (面積) 20x20 m
 (出現回数) 2x2

(地形) 山頂: 扇形: 風通: 上・中・下・凸・凹: ⑤: 平地
 (土壌) 砂質土・褐色・赤・黄・黄褐色・アソド・グライ・
 腐アライ・沼沢・硬質・高草草・非固着層・固着層・水面下

(階層) (優占種) (高さm) (個体数) (種数)
 I 高木層 サワグルミ 20 75 70 2
 II 亜高木層 トウナギ 5~8 40 2
 III 低木層 サワグルミ 2~3 30 6
 IV 草本層 リョウブ 0~1 100 22

V コケ層 -

(調査者) 望見、西村

群落名		19 75 年 7 月 2 / 日		調査者 望見、西村	
S	L	D-S-V	S	L	D-S-V
I	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
II	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
III	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
IV	リョウブ	リョウブ	SPP	リョウブ	SPP
V	-	-	-	-	-
1	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
2	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
3	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
4	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
5	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
6	リョウブ	リョウブ	SPP	リョウブ	SPP
7	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
8	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
9	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
10	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
11	リョウブ	リョウブ	SPP	リョウブ	SPP
12	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
13	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
14	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
15	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
16	リョウブ	リョウブ	SPP	リョウブ	SPP
17	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
18	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
19	トウナギ	トウナギ	SPP	トウナギ	SPP
20	サワグルミ	サワグルミ	SPP	サワグルミ	SPP
21	リョウブ	リョウブ	SPP	リョウブ	SPP
22	-	-	-	-	-
23	-	-	-	-	-
24	-	-	-	-	-
25	-	-	-	-	-
26	-	-	-	-	-
27	-	-	-	-	-
28	-	-	-	-	-
29	-	-	-	-	-
30	-	-	-	-	-

植生調査票

No. 3 (名称) 石川 県 石川 市 尾 口 町 睦
 面積 1.5万 ㊦ 左
 (地形) 山頂: 尾根: 斜面: 上・中・下・凸・凹: ⑤: 平地 (風当) 旗・中・⑤
 (土層) ボド性・雑草・赤・黄・黄緑葉・アンドン・グライ・ (日当) 旗・中・⑤・旗
 高グライ・沼沢・雑草・高草層・赤根苔類・固着層・水面下 (土層) 乾・通・⑤・通型
 (面積) 5.4 ㊦
 (出現層数) 18
 (階層) (標高) (高さm) (植被率%) (傾斜%) (種数)
 I 高木層 -
 II 亜高木層 ヤウゲルミ 5-10 25 65-80 /
 III 低木層 ヤウゲルミ 1-2 25 /
 IV 草本層 ミヤマイチクサ 0-1 100 18
 V コケ層 -

(群落名) 19 75年 12月 07日 調査者 西村

S	L	D-S	V	SPP	S L D-S V	SPP
1	Ⅲ	外		ミヤマイチクサ		
2	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
3	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
4	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
5	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
6	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
7	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
8	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
9	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
10	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
11	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
12	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
13	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
14	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
15	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
16	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
17	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
18	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
19	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
20	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
21	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
22	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
23	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
24	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
25	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
26	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
27	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
28	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
29	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
30	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		

植生調査票

No. 4 (名称) 石川 県 石川 市 尾 口 町 睦
 面積 1.5万 ㊦ 左
 (地形) 山頂: 尾根: 斜面: 上・中・下・凸・凹: ⑤: 平地 (風当) 旗・中・⑤
 (土層) ボド性・雑草・赤・黄・黄緑葉・アンドン・グライ・ (日当) 旗・中・⑤・旗
 高グライ・沼沢・雑草・高草層・赤根苔類・固着層・水面下 (土層) 乾・通・⑤・通型
 (面積) 10.1 ㊦
 (出現層数) 29
 (階層) (標高) (高さm) (植被率%) (傾斜%) (種数)
 I 高木層 -
 II 亜高木層 -
 III 低木層 ヤウゲルミ 1-2 25 15 2
 IV 草本層 ヤウゲルミ 0-1 80 26
 V コケ層 -

(群落名) 19 75年 7月 08日 調査者 豊見、西村

S	L	D-S	V	SPP	S L D-S V	SPP
1	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
2	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
3	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
4	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
5	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
6	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
7	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
8	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
9	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
10	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
11	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
12	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
13	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
14	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
15	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
16	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
17	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
18	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
19	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
20	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
21	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
22	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
23	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
24	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
25	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
26	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
27	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
28	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		
29	Ⅲ	外		ヤウゲルミ		

植生調査票

No. 8 (名称) 五川 県石川市尾口町 町立
 面積 1.5万 白茅 上左
 (地形) 山頂: 風橋: 斜面: 上・中・下・凸・凹: ⑤: 平地 (風向) 南・中・西
 (土質) ボド性・腐葉・赤・黄・黄褐色・アソド・グライ・ (日当) 陽・半陰・陰
 層クワイ・沼沢・泥濘・高湿度・非固岩層・固岩層・水面下 (土湿) 乾・湿・過湿
 (降雨) (絶対量) (高さm) (積雪率%) (積雪cm) (積数)
 I 高木層 ヤマハシノキ 7-10 100 15-20 2
 II 亜高木層 ヤマハシノキ 0-5 50 5 5
 III 低木層 ヒメウシノキ 1-2 50 8 8
 IV 草本層 アヤメ 0-1 100 17 17
 V コケ層

No. 7 (名称) 五川 県石川市尾口町 町立
 面積 1.5万 白茅 上左
 (地形) 山頂: 風橋: 斜面: 上・中・下・凸・凹: ⑤: 平地 (風向) 南・中・西
 (土質) ボド性・腐葉・赤・黄・黄褐色・アソド・グライ・ (日当) 陽・半陰・陰
 層クワイ・沼沢・泥濘・高湿度・非固岩層・固岩層・水面下 (土湿) 乾・湿・過湿
 (降雨) (絶対量) (高さm) (積雪率%) (積雪cm) (積数)
 I 高木層 ヤマハシノキ ~12 75 20 4
 II 亜高木層 アヤメ ~5 50 0 0
 III 低木層 アヤメ ~2 20 4 4
 IV 草本層 アワカズミ 0-1 100 25 25
 V コケ層

調査者 面村

調査日 1975年10月17日

SLD-SV	SPP	SLD-SV	SPP	SLD-SV	SPP
I 1	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 2	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 3	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 4	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 5	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 6	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 7	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 8	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 9	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 10	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 11	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 12	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 13	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 14	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 15	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 16	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 17	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 18	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 19	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 20	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 21	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 22	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 23	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 24	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 25	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 26	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 27	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 28	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 29	ヤマハシノキ	II	アヤメ		
I 30	ヤマハシノキ	II	アヤメ		

調査者 望風・西村

調査日 1975年7月31日

SLD-SV	SPP	SLD-SV	SPP	SLD-SV	SPP
I 1	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 2	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 3	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 4	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 5	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 6	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 7	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 8	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 9	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 10	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 11	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 12	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 13	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 14	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 15	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 16	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 17	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 18	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 19	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 20	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 21	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 22	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 23	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 24	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 25	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 26	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 27	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 28	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 29	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		
I 30	ヤマハシノキ	II	アワカズミ		

植生調査票

No. 10 (名称) 石川 県 石川 尾口 町 大字 上野
 面積 1.5万 白 坪 0.5
 (種数) 1200
 (方位) 100
 (傾斜) 0
 (出現種数) 11

(地形) 山頂：扇形：斜面：上・中・下・凸・凹：平地 (風向) 南・中・西
 (土層) 砂状土・粘土・赤土・黄砂層・アンソングライ・ (日当) 陽・半陰・陰
 崖グライ・沼沢・砂礫・高草層・非固岩層・固岩層・水面下 (土質) 砂・礫・泥・溝溜

(階層) (被占率) (高さm) (傾斜率%) (傾斜角) (種数)
 I 高木層 - - - - -
 II 亜高木層 - - - - -
 III 低木層 オシロイタケ 1-2 50 2-5 2
 IV 草本層 ヤマモミ 0.5-1 50 9

V コケ層 (群落名) 19 75年 10月 17日 調査者 西村

1	S L D-S V	SPP	S L D-S V	S L D-S V	SPP
1	+	オシロイタケ	+	+	ヤマモミ
2	+	ヤマモミ	+	+	フキ
3			+	+	トクワツキ
4			+	+	スズキ
5			+	+	クジロシゲ
6			+	+	オシロイタケ
7			+	+	アサドリ
8			+	+	ゴマチ
9			+	+	シラハハシメツキ
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

植生調査票

No. 9 (名称) 石川 県 石川 尾口 町 大字 上野
 面積 1.5万 白 坪 0.5
 (種数) 1200
 (方位) 100
 (傾斜) 0
 (出現種数) 18

(地形) 山頂：扇形：斜面：上・中・下・凸・凹：平地 (風向) 南・中・西
 (土層) 砂状土・粘土・赤土・黄砂層・アンソングライ・ (日当) 陽・半陰・陰
 崖グライ・沼沢・砂礫・高草層・非固岩層・固岩層・水面下 (土質) 砂・礫・泥・溝溜

(階層) (被占率) (高さm) (傾斜率%) (傾斜角) (種数)
 I 高木層 - - - - -
 II 亜高木層 - - - - -
 III 低木層 - - - - -
 IV 草本層 スズキ 0.1-1 60 18

V コケ層 (群落名) 19 75年 8月 1日 調査者 里見

1	S L D-S V	SPP	S L D-S V	S L D-S V	SPP
1	+	スズキ			
2	+	アサドリ			
3	+	フキ			
4	+	ヤマモミ			
5	+	フジツバキ			
6	+	アサドリ			
7	+	ヨシハシロドリ			
8	+	アサドリ			
9	+	トクワツキ			
10	+	シロツバキ			
11	+	オシロイタケ			
12	+	オシロイタケ			
13	+	クワシロシゲ			
14	+	クワシロシゲ			
15	+	クワシロシゲ			
16	+	クワシロシゲ			
17	+	クワシロシゲ			
18	+	クワシロシゲ			
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					
26					
27					
28					
29					
30					

植生調査票

No. 11 (名称) 石川 県 石川市 尾口 町 上 白 峯 西 五
 標高 1.5万 (標高) 620 m
 (方位) 方位 0
 (傾斜) 傾斜 5-5
 (出現回数) 出現回数 2/

(地形) 山頂: 上・中・下・凸・凹: 平地
 (土壌) ボド性・粘質・赤・黄・黄褐色・アソド・グライ・
 腐フライ・沼沢・泥炭・高草・非固岩質・固岩質・水面下
 (土層) 乾・湿・過湿

(階層) (優占種) (高さm) (植被率%) (傾斜cm) (種数)
 I 高木層 有エヤナギ 2-3 10 5-8 5
 II 亜高木層 有エヤナギ 2-3 10 5-8 5
 III 低木層 有エヤナギ 2-3 10 5-8 5
 IV 草本層 有エヤナギ 0-1 100 1.9

V コケ層

目付谷下流の楷林地

1975年10月23日 調査者 西村

階層	S L D-S V	SPP	S L D-S V	SPP
1	+	有エヤナギ	+	スズキ
2	+	有エヤナギ	+	クマ
3	+	有エヤナギ	+	クマ
4	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
5	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
6	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
7	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
8	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
9	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
10	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
11	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
12	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
13	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
14	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
15	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
16	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
17	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
18	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
19	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
20	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
21	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
22	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
23	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
24	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
25	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
26	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
27	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
28	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
29	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
30	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ

植生調査票

No. 12 (名称) 石川 県 石川市 尾口 町 上 白 峯 西 五
 標高 1.5万 (標高) 207 m
 (方位) 方位 10 W
 (傾斜) 傾斜 10
 (出現回数) 出現回数 2/

(地形) 山頂: 上・中・下・凸・凹: 平地
 (土壌) ボド性・粘質・赤・黄・黄褐色・アソド・グライ・
 腐フライ・沼沢・泥炭・高草・非固岩質・固岩質・水面下
 (土層) 乾・湿・過湿

(階層) (優占種) (高さm) (植被率%) (傾斜cm) (種数)
 I 高木層 有エヤナギ 15-20 70 80-20 1
 II 亜高木層 有エヤナギ 5-10 70 10-15 6
 III 低木層 有エヤナギ 1-3 50 9

IV 草本層 有エヤナギ 0-1 90 20

V コケ層

1975年10月17日 調査者 西村

階層	S L D-S V	SPP	S L D-S V	SPP
1	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
2	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
3	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
4	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
5	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
6	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
7	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
8	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
9	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
10	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
11	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
12	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
13	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
14	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
15	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
16	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
17	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
18	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
19	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
20	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
21	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
22	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
23	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
24	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
25	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
26	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
27	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
28	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
29	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ
30	+	有エヤナギ	+	有エヤナギ

植生調査票

No. 13 (名称) 石川 県 石川市 尾口 大字 町 上白峰 1.5万 1400 1540 20.5 27

(地形) 山頂: 風通: 上: ①・下: ①・④: 谷: 平地 (風向) 強: ①・弱

(土壌) ボド性・雑草・赤・黄・黄褐色・アソド・グライ・ (日当) 陽・中陰・陰

層クライ・沼沢・沖積・高草層・表面岩屑・固着層・水面下 (土質) 砂・礫・泥・腐植

(階層) (高さm) (絶対率%) (樹種%) (種数)

I 高木層 ブナ 20 85 80 1

II 亜高木層 コハナノキカエデ 50 50 70 7

III 低木層 ムシカサ 70 6 6

IV 草本層 ヌナギサ 100 19

鳥石峠附近 南向斜面

V コケ層 (群落名) 19 95年 8月 1日 調査者 里見 西村

S	L	D-S	V	SPP	S L D-S V	SPP
I	1	5	+	ブナ	+	
II	3	2	+	コハナノキカエデ	+	
III	4	2	+	ムシカサ	+	
IV	11	2	+	ムシカサ	+	
	12	+	+	コハナノキカエデ	+	
	13	+	+	コハナノキカエデ	+	
	14	+	+	コハナノキカエデ	+	
	15	+	+	コハナノキカエデ	+	
	16	+	+	コハナノキカエデ	+	
	17	+	+	コハナノキカエデ	+	
	18	+	+	コハナノキカエデ	+	
	19	+	+	コハナノキカエデ	+	
	20	+	+	コハナノキカエデ	+	
	21	+	+	コハナノキカエデ	+	
	22	+	+	コハナノキカエデ	+	
	23	+	+	コハナノキカエデ	+	
	24	+	+	コハナノキカエデ	+	
	25	+	+	コハナノキカエデ	+	
	26	+	+	コハナノキカエデ	+	
	27	+	+	コハナノキカエデ	+	
	28	+	+	コハナノキカエデ	+	
	29	+	+	コハナノキカエデ	+	
	30	+	+	コハナノキカエデ	+	

植生調査票

No. 14 (名称) 石川 県 石川市 尾口 大字 町 上白峰 1.5万 1400 1540 20.5 27

(地形) 山頂: 風通: 上: ①・下: ①・④: 谷: 平地 (風向) 強: ①・弱

(土壌) ボド性・雑草・赤・黄・黄褐色・アソド・グライ・ (日当) 陽・中陰・陰

層クライ・沼沢・沖積・高草層・表面岩屑・固着層・水面下 (土質) 砂・礫・泥・腐植

(階層) (高さm) (絶対率%) (樹種%) (種数)

I 高木層 ブナ 15-20 75 80 1

II 亜高木層 ムシカサ 50 50 75 5

III 低木層 ヌナギサ 75 7

IV 草本層 ヤマユツボ 100 19

鳥石峠附近 北東斜面

V コケ層 (群落名) 19 95年 10月 6日 調査者 西村

S	L	D-S	V	SPP	S L D-S V	SPP
I	1	4	+	ブナ	+	
II	3	2	+	ムシカサ	+	
III	11	2	+	ムシカサ	+	
	12	+	+	コハナノキカエデ	+	
	13	+	+	コハナノキカエデ	+	
	14	+	+	コハナノキカエデ	+	
	15	+	+	コハナノキカエデ	+	
	16	+	+	コハナノキカエデ	+	
	17	+	+	コハナノキカエデ	+	
	18	+	+	コハナノキカエデ	+	
	19	+	+	コハナノキカエデ	+	
	20	+	+	コハナノキカエデ	+	
	21	+	+	コハナノキカエデ	+	
	22	+	+	コハナノキカエデ	+	
	23	+	+	コハナノキカエデ	+	
	24	+	+	コハナノキカエデ	+	
	25	+	+	コハナノキカエデ	+	
	26	+	+	コハナノキカエデ	+	
	27	+	+	コハナノキカエデ	+	
	28	+	+	コハナノキカエデ	+	
	29	+	+	コハナノキカエデ	+	
	30	+	+	コハナノキカエデ	+	

西村・里見: 田附谷鴨谷出合附近の溪谷林について